

「丸アナ式」で取付け簡単！ 「叩き式コード繰出し機構」のナイロンコードカッター

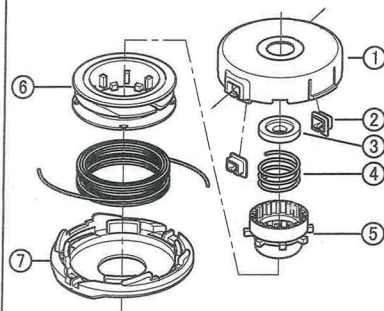
エルバカッターB型 (パワータイプ)

取扱説明書

はじめに

このたびは「エルバカッターB型」をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
ご使用の前に、この説明書をよくお読み頂いて、正しい操作と点検を充分ご理解され、
機能を最大限に活用し、快適な操作をしていただきますようお願い申し上げます。

部品の名称



No.	品番	部品名称	個数
①	0820	ハウジング	1
②	0821	アイレット	2
③	0823	刃押え金具	1
④	0824	スプリング	1
⑤	0825	鉄板付タップノブ	1
⑥	0826	ボビン	1
⑦	0827	カバー	1

警告 正しくお使いいただくために

＜ご使用になる前に＞

- ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり製品の機能と取扱上の注意事項を充分ご理解下さい。
- 本製品は、地表の雑草を刈るカッターです。それ以外の用途（木材の切断や紐込みの剪定など）に使用しないで下さい。
- この取扱説明書の内容が理解できない人や子供には、絶対に本製品を使用させないで下さい。
- 他人に貸す場合は、この取扱説明書の内容を説明するか、この取扱説明書を一緒にお渡し下さい。
- この取扱説明書は、いつでも必要に応じて見る事ができるように、大切に保管して下さい。
- ご使用の刈払機の取扱説明書に記載の注意事項も、必ず守って下さい。
- 取扱上の注意事項をよくご理解いただきますと、怪我をしたり、早期破損・故障などのおそれがあります。



取扱説明書
を読むこと



＜毎作業前の注意事項＞

コードカッターによる草刈作業は小石などが飛散します。

- ①飛散物から身を守るために・・・
 - 「そで締りのよい長そで」「すそ締りのよい長ズボン」を着用して下さい。
 - ヘルメット・保護メガネ・保護手袋・保護長靴・すねあてなどの保護具を着用して下さい。
 - 刈払機には必ず、適切な位置に飛散防護カバーを装着して下さい。
 - 保護具を着用されませんと怪我や失明をするおそれがあります。
- ②カッター本体の分解・破損・飛散を防止するために・・・
 - ハウジングの保持爪の外周縁が、カバーの窓の外周縁まで届くようにしっかりと嵌まっていることを確認して下さい。→嵌っていないと使用中に分解し、部品が飛散して、部品の紛失や怪我をするおそれがあります。
 - カバーや鉄板付タップノブの摩耗度合いを点検して下さい。カバーは「使用限界マークが無くなる前」に、鉄板付タップノブは「鉄板部が摩滅し、鉄の輪が現れたら」必ず「新しい部品」と交換して下さい。
 - カッター本体のカケやヒビ割れを点検して下さい。カケやヒビ割れのある部品は、必ず「新しい部品」と交換して下さい。
 - 刈払機とカッター本体の取付けを点検し、ゆるんでいれば締め直して下さい。また、「純正の刃押え金具」以外は使用しないで下さい。
 - カッター本体を手で回して振れや異音が無いか点検して下さい。振れや異音は回転中の異常な振動や、刈払機と取付けのゆるみなどの原因となります。
 - そのままご使用になられますと使用中に分解し飛散して部品の紛失や怪我をするおそれがあります。また、刈払機の故障の原因にもなりますのでご注意ください。

＜作業中の注意事項＞

- 各種飛散物から人や物品を守るために・・・
 - 周囲の物品や状況に充分注意して、半径15m以内に人がいないことを確認してご使用下さい。
 - 小石などの飛散物が周囲の人や物に当たって負傷及び損害を与えるおそれがあります。
- 本製品の早期摩耗・破損を防ぐために・・・
 - カッター本体を「毎分1,000回転以上」で回さないで下さい。
 - カッター本体を石・コンクリート・木の株・ビンなどの硬質なものにぶつけないよう注意して下さい。
 - コードの繰出しをする場合は、「毎分4,500回転以下」の低速回転で鉄板付タップノブを軽く地面へ打当て下さい。→硬い物に強く打ち当てたり、ぶつかけたりすると、本製品の早期破損の原因となります。
 - 異常な振動や音などが出た場合、直ちにエンジンを停止し、点検・修理を行って下さい。
 - そのまま使用すると、危険です。
- 身を守るために・・・
 - 草やワルなどの巻付きを取り除く時、またナイロンコードの取換えや巻き直し、その他点検の際には必ず刈払機のエンジンを止めカッター本体の回転が停止したのを確認してから行って下さい。
 - 回転中に手などを近づけるのは危険です。



確認



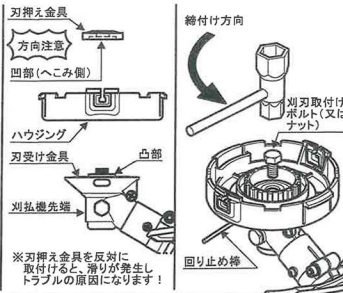
安心品質をかたちに
三陽金属株式会社

1. 取付け方

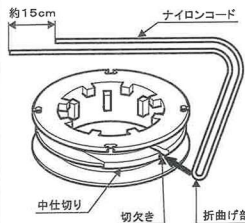
★本製品は、従来の刈刈と同じ「丸ナナ式取付け」です。刈刈と同じ要領で刈刈機に取付けて下さい。

警告

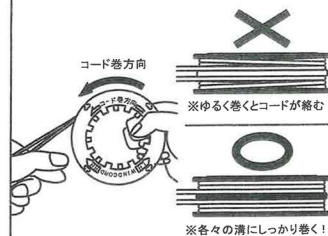
- 「本製品純正の刈刈金具」以外は使用しないで下さい。
一純正以外を使用すると、ネジがかりが強くなり、カッター本体の脱落や飛散の危険があります。
- 着付け後、カッター本体を手で回して振れや異常が無いことを確認してください。
- ①「3. ナイロンコードの取換え方法」の「[1][2]」を参照し、カバーを外しボビン・鉄板付タップ・スプリング・純正の刈刈金具を取り出して下さい。
- ②ハウジングの丸ナナを刈刈機の刈刈金具の凸部に正しくはめ、純正の刈刈金具の凹部も刈刈金具の凸部に合せて、確実にセットして下さい。
- ③刈刈機の刈刈金具の回り止めをして刈刈取付けボルト(又はナット)を確実に締めて下さい。
- ④「3. ナイロンコードの取換え方法」の「[6][7]」を参照し、スプリング・鉄板付タップ/ボビン・カバーをハウジングに組付けて下さい。



③コードの両端を約15cmずらして折り曲げ、ボビン中仕切りの「切欠き」に引っかける。



④「ボビンの「」コード巻き方向」に従って、コードをしっかりと巻込む。



2. 使用方法

★本製品は、鉄板付タップ/ボスを「軽く地面に打ち当てると」コードが繰出すナイロンコードカッターです。

警告

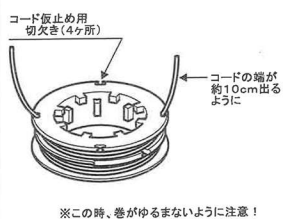
- カッター本体を毎分10,000回転以上で回さないで下さい。
 - コードの繰出しをする場合は、毎分4,500回転以下の低回転で鉄板付タップ/ボスを地面へ打ち当てて下さい。
 - カッター本体を石・コンクリート・木の株・ゼンなど硬質の異物にぶつけないよう注意して下さい。
 - 半径15m以内に人がいないことを確認し、周囲の物品や状況にも充分注意をして作業を行って下さい。
- ①作業は、刈刈機先端の回転数を毎分6,000回転ぐらいに上げて行って下さい。
飛散防護カバー
- ②コードが短くなったら、カッター本体から下方へ突出した鉄板付タップ/ボスを地面へ約10回を繰り返して打ち当てると、コードが繰出します。
- 鉄板付タップ/ボス
地面へ軽く「ポン！」
コードが繰出す
- コードの先端部で刈る
※低回転では、「コードの張り」が弱いため刈刈効率が悪くなります。

3. ナイロンコードの取換え方法

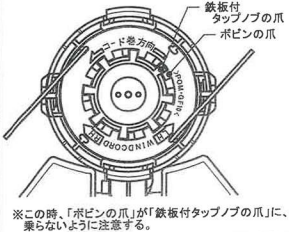
★警告 ●必ず刈刈機のエンジンを止め、カッター本体の回転が停止した後行って下さい。

- ①ハウジングの「保持爪(2ヶ所)」を押して、カバーを持ち上げて外す。
- ②ボビンを取り出す。
- ③ボビンにコードがほぼ無くなって、残っているコードを外し「[3]」以下の手順で「新しいコード」を巻いて下さい。
- ④ボビンのコードが「融着」している時は、「融着」をはがしながらコードを全部取り外して、改めて「[3]」以下の手順で「取り外したコード」を巻いてください。
- 外す
押す
鉄板付タップ/ボス
ボビン
ハウジング

⑤巻き終わったコードの端を約10cm残して、ボビンの「コード止め用切欠き(4ヶ所)」に仮止めする。



⑥ボビンの「文字が見えるように」ボビンをハウジングにセットする。



⑦コードをハウジングの外へ引き出す。



⑧カバーをハウジングにはめる。

- ①カバーの「使用限界マーク」と「アイレットの溝」をあわせ、
- ②ハウジングの「保持爪」がカバーの「窓」にしっかりとハマり込むまで押し込む。
- 確認
窓の外周線
保持爪の外周線
- 使用限界マーク
アイレットの溝
- ▲警告 ●ハウジングの保持爪が、カバーの窓の外周線まで、ほぼ1つばいに嵌まっていることを確認して下さい。